



行田市立行田中学校

さわやか相談室^{だより}

<vol. 9>

H28. 12. 7発行

なんびやく年ぶりに
母のむねに
だきかかえられた人のように

帰れるはずも なかった
とおい星から
ぐうぜんに この地球に
降りついたばかりの人のように

あれこそ 地球の手だ!
あれに 迎えられるたびに
私は なつかしさに ふるえる

冬がれの いなかに行く
と
ケヤキが 立っている
私に つかって
高々と 手を あげて



ケヤキ
まじ
みちお



—心が寒いときは—

今まで経験したことのない悲しいできごとや、生きていたくないと思うようなつらいできごとが自分の身に起きた時、人は動揺し、自分の気持ちをどこに向かて良いのかわからなくなります。ある時は怒りに身を任せて、無関係な人にやつ当たりしてしまったり、またある時は、誰にも心を開かず自分の殻に閉じこもてしまったりします。自分で自分がわからなくなるのです。

そんな時私達は、どうやってそのつらい現実から抜け出せば良いのでしょうか。—残念ながら、正しい答えはありません。

あまりにも重い現実を受け取れぬ時は、がまんせずに、誰かに助けを求めましょう。悲しい時、さびしい時は、一人で泣いていないで、誰かにそばにいてほしいと言いましょ。



寒い時に人は、自然と暖かいものに近寄っていきます。心も同じです。暖かい言葉をかけてもらいましょう。



「先生も走る」という意味の「師走」という別名を持つ12月。何かとせわしないこの月。さあ、1年のしめくくりの大切な時期です。
文字通り、走り抜けるように過ぎてきた^{げきどう}激動の2学期も、もうすぐ終わります。振り返ればいろいろなことがありました。次から次と行事をこなし、成果を上げ、日々、走り続けた日々。あとは、「大掃除」を残すのみ。家の中や学校をきれいに掃除するだけでなく、心も大掃除して、すっきりして新年を迎え入れましょう。

